



## ごあいさつ

暑かったり寒かったり、天候不順で今年は桜の花が長持ちしたそうです。地球温暖化のせいかどうか知りませんが、天候が例年と著しく違ってくると、なんとなく不安を覚えてしまいますが、新緑の季節を迎えて気持ちも晴れやかにいきたいものです。

シスポート株式会社 代表取締役 米田 明

## 連載企画 “一丁啮” が行く！ 第28回：中小企業と地域

昨年夏の総選挙で民主党政権が誕生して8ヶ月が経ちました。

昨今の世論調査などによると政党支持率も内閣支持率もかなり下がってきているようです。いろいろな要因でそうなっているのですが、政局の話はともかくとして、政権交代で私たちを取り巻く環境がどのように変化してきているのか、またこれからどのように変化していこうとしているのかを検証、考察しておくことは必要でしょう。

特に地方分権、あるいは地域主権と言われ、これからの経済活動がどのように変化していくのか、そしてその中で国民として、あるいは企業として、何をなさなければならぬのかを考えていかなければならないと思います。

2001年から2006年まで資本金10億円以上の大企業の経常利益は2倍超に膨れあがりましたが、中小企業の利益は横ばいでした。そして、全国の法人所得額の40%超が東京に集中しています。1981年以降、企業の廃業率が開業率を上回り、更に2000年以降、かなりの高水準で推移し、その結果、中小企業数は20%以上も減少してきました。ドイツやイタリアにおいては、1980年から2000年までの20年間、自営業者数はほとんど変わらないのに、日本では2/3に減ってしまいました。

それらのことは、シャッター通りと言われる商店街を見るまでもなく、実感として感じてきました。そして、これではいけないのではないかとということが徐々に意識として広がりつつあるように思います。

地域が元気になるということはどういうことか。地域の中でお金がまわっていく社会を作るといえることはどういうことか。そしてその中で、地元の中小企業が果たすべき役割とは何か。“地域”というキーワードがますます問われるようになってきているのではないのでしょうか。

## 特集 CMS (コンテンツマネジメントシステム)

コンテンツマネジメントシステム (Content Management System, CMS) とは、Webサイトを構築するデジタルコンテンツの管理、配信などの処理を行なうシステムのことで身近なものとしてはWeblog (ブログ、日記サイト)、wiki (フリー百科事典『Wikipedia』) などがあります。

CMSを利用すればHTMLやサーバ上のファイル保存場所の構造を意識しなくてもWebサイトを作成、運用することができるようになるということで近年普及してきました。

従来のWebサイトではHTMLファイルをチマチマ作成し、サーバにFTPソフトを使ってアップロードして完成……と思ったらファイルの格納先を間違えてリンクエラーなんてことがあります。CMSではWebブラウザから入力フォームに文章を打ち込んで更新すればそのままWebサイトを書き換えることが可能 (HTMLの知識が不要) です。画像ファイル等、素材自体はもちろん作成する必要がありますが、サーバのどこに格納するということは意識する必要がなくなります。

画面のデザインはテンプレート (雛形) として用意されていることが多くサイト全体のイメージ感が統一されデザインを変更する場合の利便性もあります。

ちなみに弊社では外部公開されているホームページとは別に社内サイトがPukiwikiというCMSで構築されており、資料の閲覧や業務日報の記入に活用して情報の共有化に一役買っています。

インターネットプロバイダやレンタルサーバ業者のサービスのひとつとしてCMSが提供されていたりするので、「ホームページを作りたいけど業者任せだと費用が高すぎる、自社で管理、更新したい」という場合は検討してみるのもいいかもしれません。

結局は「どういった目的」で「誰に」対して「どんな情報」を見せるかというのが一番重要であることに変わりはありませんが、コンテンツ更新が容易なCMSを利用することで情報の鮮度を保つことが可能です。



シスポート wiki の画面

ふ〜ん、ブログやミクシィ  
なんか CMS の一つの形なんやね。  
一方通行の情報発信と違って、双方向  
の情報発信が容易くできるように  
なることはええことやな。

# 読者訪問

第4回



## 訪問先

会社名：株式会社 テクノクリエイト  
 業務内容：学校向け理科実験器の企画/開発/製造  
 住所：〒600-8865  
 京都市下京区七条御所/内西町38番地2  
 面談者：代表取締役 井上 忠男 さん  
 TEL：075-325-4440 FAX：075-325-4441

今回は株式会社テクノクリエイトさんにお邪魔して、井上社長さまにお話を伺いました。

テクノクリエイトさんは、2001年に創業された学校向け理科実験機器の企画や設計・製造を専業でなさっている会社です。井上社長がもともとその業界で勤務されており、10年前に独立されたという経緯です。

学校向けの理科教材の代表的なものはメーターや電源装置などで、読者の皆様も学生時代にお使いになったご経験がお有りだと思います。理科実験機器は学習指導要領に基づき導入すべき機器が10年ごとに改訂され、その後10年間ですべての学校に充足させることになっているそうです。従って、一般市場とは異なり、文部科学省の方針に基づいて市場が形成されるという特殊な環境の中で業務をなさっています。



電源装置やメーターの製造には細かな部品が多く使われており、しかも、いろいろな製品で共通で使うものも少なくなく、不正確な在庫管理の下では必要なときに必要な部品がなかったり、余計なものまで買ってしまったり…ということがたびたびあったそうです。

そこで、製品毎の所要部品をExcelで管理し、発注や在庫の管理を行うようにしてきましたが、Excelでの処理は結構手間がかかる上にわかっている人しか使えないという問題があり、しかも、商品点数が増えてくるとExcelでの処理は限界となり、本格的な発注・在庫管理システムが必要となりました。

井上社長は、KyotoEggsという起業家を対象とした勉強会のグループを主宰されており、以前からサポート社長の米田とは懇意にさせていただいております。ですので、「サポートさんは販売管理のソフト屋さんやから、製造管理とか部品展開などできるんやろか？」と思っておられたようですが、「声を掛けてみたらうちのやりたいことにバッチリ対応してくりゃはったんで喜んでます」とおっしゃって下さいました。実はサポートの「はんばいQ」という販売管理ソフトは、カスタマイズ対応できることから、製造業でお使いいただいているケースが結構多いのです。

また、テクノクリエイトさんでのシステム構築は、最初から大げさなことを考えるのではなく、最低限のことからはじめて徐々にやりたいことを継ぎ足していく、すなわち、システムを“小さく産んで大きく育てる”という小規模企業における理想的なシステム構築手法をとっておられます。

テクノクリエイトさんのシステムが、出来ることを徐々に増やしていき、やがて大きく大きく育つことを願っております。



# Excel ワンポイント講座



ちょっと便利な機能 小ネタ集

知っていると便利な  
 シュートカットキー

セルの書式設定 Ctrl+1  
 上のセルをコピー Ctrl+D  
 左のセルをコピー Ctrl+R

ツールバーのボタンが二通りに使えます。ですから、ボタンを減らせません。



漢字がうまく並び変わらない！  
 そんなことはないですか？  
 オプションで「ふりがなを使う」になっていると、漢字の順番に並び変わりません。  
 (初期値は「ふりがなを使う」になっているので要注意)

### 方法

- ふりがなを使う(S)
- ふりがなを使わない(R)

## サポート TOPICS

● 4月度「SBC セミナー」(共催：尙中小企業診断所)を4月20日(火)に開催しました。

『行列が出来る(?) | Tトラブル事例研究』 講師：岡田 一毅 弁護士(赤井・岡田法律事務所)では、

自社のアイデアに基づいて作ってもらったソフトと酷似したソフトを依頼先のソフト会社が他社に転売。抗議したが「著作権はソフト会社にある」と言われた。さあ、どうする？



数年前にソフト会社で作ってもらったソフトがある日、思いもしない異常現象に。ソフトの欠陥だから無償で修復せよと申し入れたが「数年も経て無償では出来ない」と言われた。さあ、どうする？

というような具体的な事例をもとに勉強しました。

● 5月度「SBC セミナー」(共催：尙中小企業診断所)は、5月13日(木)13:30 ~ 16:00頃

会場：キャンパスプラザ京都 第3演習室

テーマ① ISO基礎研究 ~ISO取得で何が変わる?~

講師：杉浦 紀昭(有限会社中小企業診断所 取締役副所長)

テーマ② パソコン活用事例研究 ~中小企業白書にみるIT活用状況~

講師：米田 明(サポート株式会社 代表取締役)

発行 [Sys:port] サポート株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16

TEL (0774)-63-1131 FAX (0774)-63-1130

e-mail info@sysport.co.jp

HomePage http://www.sysport.co.jp



‘SOFT-YA’

‘IT-YA !’

第29号 2010年5月発行